

最近とくに感じるんですが、一年が早く感じませんかね(^\_^;)。年々早く感じるがスピードアップしているのは自分だけでしょうか?(^o^)。うちの子どもは週末「早くお休みにならないかな」なんて言っているのに！下手すると明日の朝までも待てないまで言いますからね。あ～あの頃に戻れるなら戻ってみたい...(-\_-;)。

発行元：大町デリバリーサービス松尾新聞店

発行枚数：2600部

発行日：不定期 宅配されています信濃毎日新聞・朝日新聞・毎日新聞・産経新聞といっしょにお届けしております。ご意見ご感想お待ちしております！

# 大町巡拝の旅 『仁科三十三番札所めぐり』

第四回目となりました『仁科三十三番札所めぐり』、今回は十一番札所の大沢寺と三十一番札所の清水寺の紹介になります。

<十一番札所 大沢寺 だいたくじ(禅宗・駒沢村)>

『ふだらく(普陀落)の山と言はん 八のみね ひらく御法の 大沢の寺』

大沢寺のある駒沢村は古くは借馬村の枝村で、現在の二つ屋集落の北方、南向きの洞地形の奥にある。伝承によれば、二条良實公が開創した説と、南北朝の頃、二条正信公の娘・利了尼が開創したとも言われています。その後この地の豪族仁科盛直が再興し二条家によって開基されたと伝えられています。大町近在最古の寺で禅寺として総門、山門、くり(庫院)、衆堂、禅堂、廻廊、宝蔵の七堂がそろい、盛時には2~30人の修行僧が全国から集まっていたといえます。山辺の広沢寺、波田の若沢寺とともに信州の三沢寺と称せられ、「寺で立派は大沢寺」「信濃に過ぎたものあり大沢寺」といわれたように、壮大な景観で知られていた。惜しくも昭和四十一年十二月十四日夕刻不慮のの災火で全焼してしまった。かけつけた消防車も雪深い中で水はなし、眺めているだけで手の出しようがなかったと翌日の信濃毎日新聞は報じたといえます。

今現在の消防の装備だったら、ひょっとしたら大沢寺は残っていたのかもしれないね、でも雪の量なんかは今とは比べものにならない位の量だったんでしょね。現在は下の写真(左)のように大雄殿が建てられています。明治の廃物毀釈のときには、大沢寺は公家の二條氏の祈願所になっているという理由で、廃寺となるのを免れています。

さて、大沢寺のうち十一番札所となっている観音堂は、境内の庭から少し南にはずれたところに、いまは小さな建物となっており 聖観音坐像を祀っています。少しわかりづらい場所にありますが、境内にはいり 大雄殿を正面にして左側(山側)一番奥の方に林道があります、その林道をまっすぐ進んでいきますと、下の写真(中)にあります観音堂があります。普段はこちらの観音堂は厳重に鍵がかかっていますので、聖観音坐像は拝見することはできません。



大雄殿がある現在の大沢寺(二つ屋)



境内敷地の手前左側林道奥に入るとある観音堂



大雄殿 建立の縁起

<三十一番札所 清水寺 せいすいじ(禅宗・清水村)>

『ありあけの 山の高ねの 月はれて ながるるかげも 清水の寺』

この三十一番札所の清水寺、乳川扇状地の北側の清水集落にあり、江戸時代では観勝院の末寺でありました。現在は「せいすいじ」と呼ばれていますが、古くは「きよみずてら」と呼ばれていたかもしれないという説もあります。古い書物に記されている内容を見ますと、この寺が現在地の西方1キロメートルほどの野田(野田というのは湿地の意味があります)にあったとしています、そこには寺跡を示す長方形の台地が残っており、いまは安曇野国定公園の範囲にはいっています。寺伝によればそれ以前には、さらに奥の寺屋敷という所に寺があったというが、残念ながら立証はできていません。現在の本尊は木造の十一面観音坐像です。さらにこの寺には、親鸞上人筆と伝承する古様な阿弥陀如来の絵がある。親鸞上人というのはさておき、かなり年代を経たもののようで、あるいはこの寺が野田にあった頃からのものかもしれない。清水寺も廃物毀釈によって廃寺とされたが、建物はしばらく清水学校の校舎として利用された。その後も清水集落の人たちによって護持され、堂守の僧も住まっていた。昭和十七年、大沢寺の末寺として再考された。



参考資料 『仁科三十三番札所めぐり』 篠崎健一郎著  
『北アルプス大町ものがたり』 石沢 清著



## 『陶磁器のリサイクル』

廃棄された陶磁器の多くは「不燃ゴミ」として処理されています。その量は不燃ゴミの約5パーセントを占めるともいわれていますが、最近では全国各地でそのリサイクルが進んでいます。岐阜県的美濃焼の産地では、1997年に「グリーンライフ21プロジェクト」がスタート。廃棄陶磁器を回収し、粉碎した粉を20パーセント含む粘土を使って、新しい商品に再生しています。「Re 食器」と名付けられた商品は、2004年に陶磁器としては日本で初めてエコマーク商品の認定を受けました。食品の宅配業者や各地の専門店などでも販売されており、07年度には約180万個を生産。現在、このプロジェクトには美濃焼の製造・流通にかかわる企業40社と、多治見、土岐、瑞浪3市の試験研究機関が参加しています。東京の八王子、町田、多摩の3市で食器回収を行う「多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター」はリサイクル事業の一環として、廃棄陶磁器からの再生粘土を使った陶芸教室などを毎月開催しています。佐賀県の有田焼の産地では、陶器の製造過程で生じた欠陥品などを、再生原料として21パーセント含むリサイクル白磁「エコポーセリン」を01年度に開発。現在は再生原料を35パーセント以上配合した商品の開発を進めています。



## 信濃おおまち 街なかワークショップ

### 麻倉プロジェクト

大町市街地において、麻倉  
(現在未使用の土蔵造りの倉庫)

を、クラフトや芸術の情報発信及びワークショップ体験の拠点として再生することを目的としたプロジェクトがはじまっています。11月中旬から12月にかけては、「グリナーズビレッジ」や「わちがい」などで、8人のクラフト作家による各種講習会が行われています。残念ながら今回の講習会の申し込み締め切りが過ぎているためご紹介だけとなりますが、好評につき次回の企画もあるとの事です。講習は下記の通り行われています。

- \* 11月21日 子ども椅子用ノッティングマット(織り)  
講師：松島 しづ(白馬村在住 ATELIER VERT et NOIR)
- \* 11月28日 アロマポット(陶芸)  
講師：横田 敬子(大町市平在住 桑麻陶房)
- \* 11月29日 サンタの組み木昇り人形(木工)  
講師：廣川 伊知朗(大町市在住)
- \* 12月3日 プローチ(木工)  
講師：小田 時男(大町市美麻在住 JIO工房)
- \* 12月6日 クリスマスリース(トールペイント)  
講師：北原 裕美(大町市常盤 Folk Art Studio Brush&I)
- \* 12月12日 ペンダントトップ(銀細工)  
講師：成田 美和(大町市平在住 studio bulb)
- \* 12月13日 スプーン(木工)  
講師：谷口 泉(朝日村在住 泉 家具工房)
- \* 12月開催予定 椅子の座面(「七島い」編み)  
講師：山形 英三(大町市平在住 木楽工房)

参加されている受講生は大町市内の方々だけでなく、白馬村や穂高町から参加されている人も多数いらっしゃると聞きました。何か趣味をもってみたいなどお考えの方は是非とも次回の講習会から参加されてみてはいかがでしょうか。そして寂しくなっていく大町の街中を元気よくしていくのに一役かってみてはいかがでしょうか。



11/21ノッティングマット講習会

お問合せ：グリナーズビレッジ 0261-22-5545

## 新聞に載らない内緒話！

<とぜんそう>

「とぜんそう」と書いても何のことかわからない。「徒然草」。雅名「つれづれぐさ」ならばわかりだろう。吉田兼好のそれである。

酒井法子被告の覚せい剤取締法違反、押尾学被告の麻薬取締法違反と一連の騒動が続く。そこで思い出した。劇作家・別役実が書いたエッセーに「とぜんそう」がある。

吉野から紀州にかけて山中に自生するこの多年草は刈り取って乾燥させると強い芳香を放ち、これには幻覚作用があるそうだ。「とぜんそう」の束を室内に吊るし、幻覚に襲われ、夢とも現ともつかぬ状態を「つれづれなるまま」という。別役のエッセーの受け売りである。

この幻覚作用は、大麻のそれによく似ているようで、名著「徒然草」もそのような状態で書かれ、また読み手もまたそのような状態で読まなければその良さは味わえないし、理解もできぬものらしい。

もちろん、日本では栽培が禁止されており、一部の国文学者が「徒然草」理解のため一時的な使用を国に求めているが却下されている。中国雲南省に自生しているのが発見され、やはり一部の国文学者が密かに潜入を試みたといわれている。

「つれづれなるままに、日ぐらしすずりにむかひて、心にうつりゆくよしなごとを、そこはかたなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ」という書き出しの「ものぐるほしけれ」とは幻覚症状で「ひどく苦しくなってくるなあ」という意味である。

酒井、押尾両被告が求めた幻覚は、現実からの逃避であろう。なにが直接の動機であったのか、定かではないが、いずれにしても違法であることには間違いがない。

例えば東京地裁に出かけて見るとよい。毎日行われる多くの裁判の中に、覚せい剤、大麻にまつわる法廷はいくらでもある。軽微ならば即決裁判、長くても2回の審理で有罪判決が下る。その時、事の重大性に気がついて手遅れなのである。

## (有)大町デリバリーサービス松尾新聞店

大町市大町2675-7(ハローワーク大町すぐ近く！)

電話：フリーダイヤル 0120-030553

FAX 0261-22-8402

HPアドレス : <http://shimbun.web.fc2.com/>

